

令和7年一番茶情勢について

令和7年5月26日現在
J A 静岡経済連 茶業課

1 気象状況 【観測地点 菊川牧之原】

- (1) 平均気温は、3月～4月は平年より高く推移しました。5月上旬は平年を下回りましたが、5月中旬は平年を上回りました。
- (2) 降水量は、3月～4月は平年を下回りましたが、5月上旬以降は平年を上回りました。

2 生産状況

- (1) 生産期を通じて降雨が少なく、最低気温が前年を下回る日も多かったため、生産開始から後半まで反収は少なく推移しました。生産は5月末で大方終了となります。
- (2) 急激な気温上昇がなかったため、荒茶品質は安定していました。
- (3) 煎茶需要の低迷から、需要が拡大しているてん茶への生産転換の動きが見られました。
- (4) 県下荒茶生産量は、前年(10,000t)の80～90%程度を見込みますが、地域・工場間の格差が大きい状況です。

3 流通状況

- (1) 茶期前の茶商在庫はやや多く、例年同様品質重視の選択買い、小口仕入れでの開始となりました。
- (2) 荒茶価格が1,000円台に入ってから引き合いが強まり、1,300円程度で下げ止まりました。
- (3) 有機栽培茶やてん茶、かぶせ茶、特徴を活かした品種などは引き合いが強く、前年以上の価格で取引されました。
- (4) 県下荒茶平均価格は、前年(1,763円)の120～130%程度を見込みます。

4 茶市場取引状況

(単位：kg・円/kg・%)

項 目		令和7年(5/26現在)		令和6年最終		前年比	
		数量	単価	数量	単価	数量	単価
静岡 茶市場	県内産	443,026	2,069	624,372	1,591	71.0	130.0
	県外産	242,407	2,208	300,672	1,794	80.6	123.1
鹿児島茶市場		2,172,089	2,270	2,552,387	1,771	85.1	128.2

5 その他【二番茶】

- (1) 早場所では6月上旬からの開始が予定されており、6月10日頃から摘採範囲は広がる見込みです。
- (2) 一番茶の最終価格が前年を上回ったことから、二番茶の仕入れ要望は強く、増産に向けて管理作業に取り組んでいます。
- (3) 茶商在庫は少なく、数量確保の動きが活発化しています。
- (4) 二番茶生産販売対策を静岡県農協荒茶共販委員会にて作成しました。
生産を拡大出来る環境となったことから、積極的な生産、継続可能な価格での取引を呼び掛けています。

(株)静岡茶市場情報(5月26日現在)

鹿児島県種子島産の二番茶入荷が始まり、一番茶同様反収の少ない状況です。
価格は、前年より高値で取引され、引き合いの強い状況が続いています。
鹿児島本土物(額娃・知覧)は、5月30日より入荷の予定です。